

知事と区市町村長との意見交換会(国分寺市)

令和2年10月6日(火)

15時30分～15時50分

○**行政部長** それでは意見交換を始めさせていただきます。はじめに知事からお願いいたします。

○**知事** 井澤市長、こんにちは。お元気そうですね。

今日は長期戦略の策定をする中で直接に市の現状、そして課題、御要望等を伺っていくというものであります。井澤市長におかれましては、このコロナウイルスという見えざる敵に対して、日々最前線で市民に寄り添って様々な施策を講じておられるということで、まずは感謝を申し上げたいと存じます。

その上で感染の拡大防止と、そして社会経済活動を両立させるという、ウィズコロナの社会をいかにして生きていくのかということが問われているわけであります。

ともにこの難局に立ち向かっていくために、東京都ではただいま都政の構造改革を強力に推し進め、またそれを梃子にしながら新しい日常、サステナブル・リカバリーという新たな切り口、視点に立って、長期戦略の策定を進めているところであります。

そこで都と市区町村連携しながら、オール東京で立ち向かって行かなければならないという意味で、今日はまず国分寺市の御意見、御要望をこのオンラインではありますけれどもも伺わせていただきたいと思います。限られた時間ですが、どうぞよろしく願いをいたします。

○**国分寺市長** お願いします。

○**行政部長** それでは井澤市長、御発言をお願いいたします。

○**国分寺市長** 知事におかれましては、大変お忙しい中、こういう場をお持ちいただきまして、ありがとうございます。もう今日は私が最後ということでございますけれども、是非よろしく願い申し上げます。

この間、本市では市民の生命と健康と生活を全力で守るために、新型コロナウイルス感染症に関する国分寺市の対応方針というのを定めまして、東京都が示したロードマップ等も踏まえながら、様々な施策を講じて参りました。今後も新型コロナウイルス感染症の動向を見据えながら、東京都とも緊密に連携をいたしまして、効果的な対策を継続して講じて参りたいというふうに思っております。

そこで本日はコロナ禍における課題や、都との連携強化、また本市における地域の課題について、意見を述べさせていただきたいと思っております。

次のスライドをお願い申し上げます。2ページでございます。まず一点目でございます。ウィズコロナ、アフターコロナを見据えた来年度予算や長期戦略の策定等につきまして、申し上げます。

本市は国から令和2年4月に示されました、GIGAスクール構想の加速による学びの保障

に基づき、市立の小・中学校における ICT 環境の整備を加速しております、今年度中にタブレット端末等の機器や、インターネット環境の整備を完了させる予定でございます。このことは society5.0 時代にふさわしい教育の実践に資するものであり、今後の学びの多様化に柔軟に対応するためにも、大変有効な施策であると考えております。

一方、グラフでお示ししておりますとおり、GIGA スクール構想により、教育部門における ICT 関連の経常経費が増大いたしまして、財政負担が非常に大きくなっております。GIGA スクールにつきましては、来年度以降も毎年約 2 億円のランニングコストが発生するため、将来的な財政負担を強く危惧しているところでございます。

つきましては、各自治体の財政事情によって教育格差が生じることがないように、東京都の財政的な支援を継続してお願いしたいというふうに考えております。

次の 3 ページ目を御覧ください。また、長期的にはタブレット端末等の更新が必要になることから、この点につきましても国や都における財政措置をお願いしたいと考えております。

なお、その他の対応として、タブレット端末等を各御家庭で用意していただくことも考えられますが、これは自治体ごとの判断に委ねることなく、都として一体的な考えの下で、取組を進めていただくことが望ましいかというふうに考えております。是非この点についても、御検討をお願いしたいと思います。

次の 4 ページ目でございます。二点目。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策における、都と区市町村との連携強化でございます。

本市では 7 月から PCR 検査を必要とする方のうち、公共交通機関しか移動手段がない方を対象に、市の単独事業として、自宅から検査会場まで往復の搬送事業を実施しております。本事業は PCR 検査を必要とされる方への安全確保と、新型コロナウイルス感染症拡大防止の両面において、大変有効な施策であると考えております。

また、本事業で使用する車両につきましては、東京都の御協力を賜りまして、陰圧車を無償で貸与していただきました。この場をお借りいたしまして、改めて感謝を申し上げます。

本事業は多く活用されることがよいということにはなりませんけれども、7 月から 9 月までの 3 か月間で、本市において計 21 回の搬送実績がございます。まさにウィズコロナの視点から、継続して実施していく必要が高いと考えています。

本市では既に、東京都の区市町村との共同による感染拡大防止対策推進事業における意向調査において、財政支援の要望をさせていただいているところでございます。ただし、本事業は年間の費用に換算しますと、これは車両を除く費用でございますけれども、運搬委託費として 1,000 万円を超えることとなるため、改めて御支援をお願いしたいというふうに思っております。

次の 5 ページ目でございます。三点目でございます。これは直接コロナとは関係はございませんけれども、本市の大きな課題でございます。JR 西国分寺駅東口改札の開設等に向けた御支援につきまして、お話をさせていただきたいと思っております。

JR 西国分寺駅は中央線と武蔵野線が乗り入れる結節点でありまして、多摩総合医療センターの最寄駅でもあります。年間の乗車人数が1,000万人を超えておりますが、その機能が十分に発揮されているとは言い難く、住民や来街者の利便性と安全性の向上が必要であると考えております。

次の6ページ目でございます。具体的な要因としましては、駅へのアクセスの現状でございます。肝心の西国分寺駅の東口改札が設置されておりませんで、都の施設等利用者等を含む多くの市民が、西側にある1箇所の改札口から、交通量の多い都道を横断することを余儀なくされております。

次の7ページ目でございます。JR 西国分寺駅東地区は、御存じのように旧国鉄の鉄道学園跡地等を中心に、約32ヘクタールの整備が進められて参りました。

次のスライドをお願いいたします。御存じのように、本地区には都立武蔵国分寺公園、約年間140万人の来訪者がございます。また、都立多摩図書館、公文書館は、非常に来訪者が多くなってきておりまして、直近で年に30万人の方が利用されている、東京都の施設がございます。また、史跡武蔵国分寺跡には年間約20万人の方が来訪しておられます。

また、御協力をいただいております新庁舎でございますけれども、令和6年度の竣工を目指しまして、新庁舎の建設に向け、現在歩を進めているところでありまして、更なる来街者の増加が見込まれているところでございます。

次の9ページでございます。住民や来街者の利便性向上のためにも、西国分寺駅東口改札の開設は大変重要な意味合いがあるものと考えております。これまでも東口改札の設置を要望して参りましたが、現状では請願駅扱いとなりますので、整備費約23億円でございましてけれども、それプラスその後のランニングコストの負担が必要となることから、市単独ではなかなか難しい、実現には至っておりません。

したがいまして、東京都さんと国分寺市が連携してJR 東日本へ働きかけるとともに、東口改札の開設に向けた強力な御支援を、今度とも是非ともお願いを申し上げたいというふうに思っているところでございます。要望については以上でございます。よろしくお願い申し上げます。

○行政部長 市長、どうもありがとうございました。それでは知事からお願いいたします。

○知事 幾つかの課題、御要望等ございました。まずGIGAスクールに関連してですけれども、教育のICT化というのは今回のコロナでもってより加速させなければならない現状が浮き彫りになったわけでありまして。

教育のICT化については、都ではTOKYOスマート・スクール・プロジェクトというプロジェクトを、かねてより進めておりましたけれども、現在これはニーズに鑑みて加速をさせているところです。

ICTの環境整備に対して、財政支援の実施をして、更新時の負担の話も今ございました。スパンがちょっと違うという話ですけれども、この件については国に対して支援を要

望しているところであります。

今後ともこれこそ長期戦略の一つでありますけれども、国が様々なデジタル化等の取組を進めようとしていること等も注視しながら、地域の実情を踏まえつつ、支援をしていきたいと考えております。

それからPCRの検査をする方を移送する、そのための車の配備でありますけれども、これについては感染拡大防止のためにも何かと、これに限らず、情報公開や意見交換が必要かと。また、連携が必要であります。

そういう中で区市町村との共同による感染拡大防止対策推進事業ということで、いろいろと意向調査を行ったところですので。そして支援に向けての準備を進めているところであり、この御要望の事業については支援する方向でございますので、感染拡大防止に向けた取組をお願いしたいと思っております。

2か月間で16件ということであります。もちろん、これは感染拡大を防いでいくというのが何よりも必要でありますけれども、いざといった時にこれらのことをシームレスに進めていかなければなりませんので、そういった意味でも支援をして参ります。

それから3番目の駅の改札口については、副知事の方からお話しさせていただきます。

○副知事 それでは改札口につきましては、私の方からお答えさせていただきます。周辺の開発整備が進んでおります、JR西国分寺駅の東口改札口、いわゆる府中街道を超えた先の東側に、改札口を開設されたいというお話かと思っております。

都はこれまでも鉄道事業者や区市と連携しながら、自由通路の整備や駅のバリアフリー化に取り組んで参りました。こういった問題につきましては、やはりそれぞれ様々な個別事情もあることも事実でございますので、本件につきましても、本日伺ったことを所管局である都市整備局にも十分伝えて参りますので、具体的に御相談いただければと思っております。

そうした上で、関係者とともに必要な対応を図って参りたいと、このように考えております。よろしく願いいたします。

○国分寺市長 ありがとうございます。

○行政部長 井澤市長、いかがでしょうか。今の発言を受けて何かございましたら、お願いいたします。

○国分寺市長 本当に知事からはありがたいお言葉をいただきました。移送車につきましては、陰圧車については本当に市民の方、それから医療機関の医師の先生方も非常に喜んでおられます。そういう意味で利用が増えるということは、決してよいことかどうか分かりませんが、ただ、もちろんPCR検査を受ける方はもちろんなんですけれども、御家族も含めて周りの方に感染させない、そういう方たちの安全を守るために、本当に重要な事業だと思っておりますので、市としてもしっかりと進めて参りますが、また御支援いただけたということが、本当に有り難いと思っております。よろしく願い申し上げます。

それからGIGAスクールでございますけれども、これも私ども市区町村にとっては4年

掛けてやる事業でありましたけれども、一挙にコロナ禍で前倒しになったということで、担当の所も非常に困っておりましたけれども、これはもう必要なことですので、積極的に進めていくということで、今準備を急いでいるところであります。子供たちにとってはこれから必要なことですので、我々としてもしっかりと努力して参りたいと、こういうふうに思っているところでございます。

それから三点目の西国分寺駅の東口の開設でございます。もう知事には多摩図書館の開設の時にお願いをさせていただいて、その時にお話しをさせていただいたところでございますけれども、非常に利用者が多くなっております。このコロナ禍で少し、公文書館等も訪れる方は少なかったですけれども、職員の方をはじめとして多くの利用者がこれから見込まれます。

是非、ちょっと私どものこともあるんですけども、非常にそこに至るまでは改札口が一つ、そして武蔵野線の線路を潜って府中街道へ出て、それから多摩図書館の方に行くということになりまして、非常に交通の危険性の高いものですから、元々は東口を開設ということで予定しておりまして、駅広場も用意をしてある所でございます。是非これについても、今私ども単独で JR の東日本さんにはお願いをしておりますけれども、都におかれましても、また御支援を賜ればというふうに思っているところでございます。

いずれにしても、感染も残念ながら国分寺市も一人、二人と増えております。クラスターが発生していない、それから注意されている方もおられるということで、数字は累積でありますけれども、しっかりと前線として、我々は市民に寄り添って、何としても早く手を打つということで、これは職員、市民の方にも、とにかく熱があったら自宅待機をしてください、PCR 検査を受けてくださいということで、進めているところでございます。是非こちらの方にもお願いを申し上げたいと思っております。

私ども対策の担当部署を新たに設けて、職員を 3 人配置して、ウィズコロナへ対応するために、従来の支援体制は維持しつつ、そういう先端部署を設けてやっていこうということでございます。

また、GIGA 等デジタル化につきましては、ここでデジタル推進担当も予定しておりまして、積極的にこれについても取り組んでいかなければいけないというふうに思っております。

コロナ禍における我々も一歩前進ということになるかと思っておりますけれども、しっかりと進めて参りますので、引き続き御支援を賜ればというふうに思います。よろしく願いいたします。

○行政部長 どうもありがとうございました。それでは最後に知事からお願いいたします。

○知事 コロナ対策というのはまさに国難であります、それを連携しながら乗り越えていきたいし、また、逆にこれによって GIGA スクール等もそうありますけれども、教育のオンライン化等も一気に進むこととなっております。

逆にこういう困難をバネにして、そして東京都としてよりサステナブルなリカバリーを

果たしていきたいと思っておりますので、今後ともしっかりと連携しながら頑張って参りましょう。よろしく願いいたします。

○国分寺市長 ありがとうございます。

○行政部長 それでは以上で終了いたします。本日は御多用のところ、ありがとうございました。